



校長だより

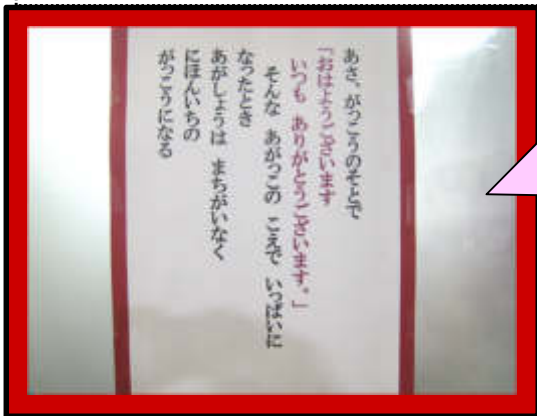
呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



放課後の遊び方を振り返る

熱中症もこわい。コロナもこわい。そんな中でも子どもたちは思いっきり遊びたい。しかし、放課後、次のような風景になっていないかどうか、振り返る時間をとりました。ご家庭でも、我が子の放課後の遊び方について、気に留めていただければ幸いです。

さすがに日がかんかん照りつける公園は暑い。熱中症もこわい。どこか涼しい場所はないかな？あるある！あそこなら、広いし、日陰だし……。公園と呼べる場所ではないけど、まあいいか。そのうちにそこで遊ぶ友だちも増えて……。振り向いてみると、自転車の山。友だちがたくさん集まれば、話も盛り上がる。だんだん、笑い声も話し声も大きくなる。そのうちに持ってきた水筒のお茶も空になる。いざというときのために持っていたお小遣いでジュースやアイスを買いたくなる。ついつい、コンビニに行きたくなる。お小遣いを持っていない友だちまでコンビニに付いていく。お金を持っていなくても付いていくと自分もほしくなる。万引きをすると、警察に捕まるし、おごり・おごられがばれるとただでは済まないし……。コンビニからもどってから、いつの間にか、たくさんのごみがちらかって……。ふと、時計を見ると、5時を過ぎてている。

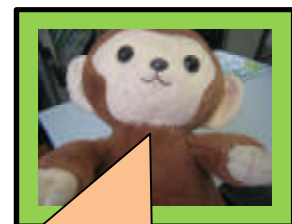


朝、横断歩道で見守りをしてくださる地域や保護者の方に、毎日欠かさず「おはようございます。いつもありがとうございます。」が自然に言えるようになる。

これが自然にできるということは、感謝の気持ちをもって生きているあかし。感謝の気持ちを持っているからこそ、いろんなことに気配り、心配りができる。人も自分も大切にできる。自分にあるはずの才能を思いっきり発揮するために人から言われなくても頑張れる。その結果、学力も高くなる。そういうことだと思います。

あがっこ防災標語コンクール

- 【最優秀賞】百鳥 咲笑 (1-1)
「こえだして みんなとにげよう はやめのひなん」
- 【優秀賞】山下 史織 (6-2)
「自分がひなん その行動 みんなを守る スタートだ」
- 【優秀賞】高橋 碧依 (3-3)
「自分しだいで すべてきまる 早目のじゅんぴ 役に立つ」



図書室に飾ってあるぬいぐるみの首のほつれを自分の裁縫道具を使ってそっと修繕してくれた阿賀っこがいます。